

●九重町の梨経営の特徴

- ・大分県で最も早く梨が植栽された産地で100年以上の歴史があり、8月下旬から収穫・出荷が始まる中生品種が中心です。
- ・梨の他に、水稻・野菜類・自然薯・リンゴを栽培する生産者もいます。
- ・研修は梨生産者・九重町、JA、大分県からなる九重町梨ファーマーズスクールが主催し、九重町の梨農家が栽培技術指導を行います。
- ・夏が涼しく農作業がしやすい環境にあります。



【九重町内の梨棚】

●梨の栽培スケジュール

梨/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(梨)	剪定		受粉・摘果・農薬散布・除草				収穫		土づくり		剪定	

●就農までの流れ



●経営目標

就農5年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

- ・豊水 あきづき 40a 14t(3.5t)
- ・新興 新高 15a 6t(4.0t)
- ・育成園 45a 9t(2.0t)

販売額・所得

・販売額 920万円 ・所得 370万円

従事者

・家族 2人 雇用 1人 (4月～10月)

就農10年目の経営目標

品目・規模・収量(単収/10a)

- ・豊水 あきづき 70a 25t(3.5t)
- ・新興 新高 30a 12t(4.0t)

販売額・所得

・販売額 1,160万円 ・所得 460万円

従事者

・家族 2人 雇用 1人 (4月～10月)

・規模拡大
・単収増加
・雇用増

※減価償却費は所得に含む

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

※第三者経営継承を基本とします。

●モデル経営体の紹介

- ・浅岡 清一
- ・経営概要（複合もあれば記載）
面積・作目 170a（梨 リンゴ 水稲 自然薯）
構成員 夫婦2名+息子夫婦2名
- ・メッセージ



ファーマーズスクールの制度はゼロから農業を始める人にとって、とても心強い事業だと思います。きれいな水や空気、豊かな自然環境が身近にある九重町で農業を始めてみませんか。

●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

- ・部会等組織名：JAおおいた玖珠九重梨部会（12戸 販売金額：約6千万円（系統出荷））
- ・研修機関名：九重町梨ファーマーズスクール
- ・サポート体制：梨部会、JA、九重町、大分県西部振興局によるコーディネートチームを編成し、技術指導や農地紹介、補助事業や経営計画の作成等々、総合的な支援を行っています。



苗木管理指導



苗の植え付け支援



ファーマーズスクール卒業式

●九重町の支援策

- 九重町ファーマーズスクール
研修期間2年間 問い合わせは随時
- 移住・定住支援
 - ・九重町空き家・土地バンク制度
 - ・空き家活用定住促進事業
 - 移住応援給付金補助 補助率10分の10以内
- 子育て支援
 - ・子ども医療費助成事業
高校卒業まで医療費無料
 - ・出産祝金
 - ・育児助成金事業
 - ・子育て関連用品購入助成金事業

●産地が求める人材

- ①就農意欲の高い方
- ②梨栽培を積極的に学びたい方
- ③九重町内に就農し、定住ができる方
- ④地域との交流ができる方
- ⑤普通自動車免許を有する方

●問い合わせ先

JAおおいた西部営農経済センター
営農経済管理課 玖珠事業所
〒879-4331 玖珠町大字帆足385番地
TEL:0973-72-6767
FAX:0973-72-0269

九重町役場 農林課
〒879-4895 九重町後野上8番地の1
TEL:(0973)76-3804(直通)
FAX:(0973)76-3840
メール:nourin@town.kokonoe.lg.jp
ホームページ:<https://www.town.kokonoe.oita.jp/>

